

平成28年度

学校・家庭・地域の連携協力推進事業

実践事例集



沖縄県教育委員会

はじめに

学校・家庭・地域の連携協力推進事業は、未来を担う子どもたちを健やかにはぐくむため、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、一体となって子どもを育てる体制を整えることを目的として始まった事業です。

本県においては、平成19年度から「放課後子ども教室推進事業」、また、平成20年度から「学校支援地域本部事業」、平成23年度から「家庭教育支援事業」、平成27年度から「土曜日の教育支援体制等構築事業」が実施されています。

本事例集は、今年度各市町村で取り組まれた成果をまとめ、今後の参考としていただくために作成しました。これからの活動の参考にさせていただき、それぞれの市町村において事業の推進及び活動内容の充実のためにご活用していただければ幸いです。

結びに、本事業の推進に御尽力いただきました各市町村教育委員会の皆様、学校の先生方、そして子どもたちを支援していただきましたコーディネーターや教育活動推進員、教育活動サポーター、特別支援サポーター、ボランティアの皆様にご心より感謝いたします。また、本事例集発行のためご協力いただきました関係者の皆様方にお礼申し上げます。今後とも地域の方々に学校や子どもたちを支えていただき、本県での学校・家庭・地域の連携協力推進事業がますます充実していきますことを祈念しております。

学校・家庭・地域の連携協力推進事業 実践事例集 目次

学校支援地域本部事業

宜野湾市	1
石垣市	2
浦添市	3
名護市	6
糸満市	7
沖縄市	10
豊見城市	22
うるま市	23
宮古島市	28
南城市	30
本部町	31
恩納村	32
読谷村	33
北中城村	34
中城村	35
西原町	36
与那原町	37
南風原町	38
渡嘉敷村	39
八重瀬町	40
市町村活動状況一覧	41

家庭教育支援事業

石垣市	44
名護市	45
読谷村	46
伊平屋村	47

放課後子ども教室推進事業

宜野湾市	48
石垣市	49
浦添市	50
糸満市	55
沖縄市	56
豊見城市	61
うるま市	62
宮古島市	66
今帰仁村	68
本部町	68
読谷村	69
嘉手納町	71
北谷町	72
北中城村	73
中城村	74
与那原町	75
南風原町	75
伊是名村	76
久米島町	77
竹富町	81
事例紹介以外のデータ	82

土曜日の教育支援体制等構築事業

うるま市	84
読谷村	87

宜野湾市学校支援地域本部事業(宜野湾市)

構成学校	市内9小学校・4中学校 13小中学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	155人	コーディネーター数	10人 (うち1名は2校兼務)
コーディネーターの配置場所	市内小中学校	勤務時間	1校あたり18時間/月		

◆代表的・特徴的な活動

- ・学習支援活動（個別・授業に入っの補助等）
- ・地域で活動する方や企業によるキャリア教育
- ・校医検診の補助
- ・家庭科でのミシン補助（ナップザック作り等）
- ・じゃがいも植え付け（栽培指導）
- ・昔遊び体験
- ・給食配膳補助



じゃがいも植え付け
(栽培方法)



家庭科ミシン教室

◆工夫していること

- ・コーディネーター同士の情報交換の場を定期的に設けている。（H28年は5月・8月・12月・2月）※12月と2月は予定
- ・事前打合せや活動後の振り返りを大切にしてもらうよう学校へお願いしている。（活動がしやすい環境づくりの配慮の為）
- ・ボランティアの方や先生方から感想や意見を聞き、今後の活動に活かすよう努めている。



昔遊び
(お手玉あそび)



キャリア教育



コーディネーター研修会

◆成果と課題

- 【学】 子どもたちが農作業への関心を持つようになり、新たな一面を見ることができた。
- 【学】 人手が多く必要なミシン等の授業で、多くのボランティアの方々に入っただいたことにより、スムーズに授業が進めることができた。
- 【コ】 コーディネーター連絡会を通して、様々な情報を得ることが出来ると同時に、横の繋がりができた。
- 【ボ】 子どもたちのサポートをしながら、真剣に取り組む様子を見ることができ、楽しく参加できました。
- △【学】 コーディネーターの勤務時間との兼ね合いで、依頼や打合せのタイミングが難しいことがある。
- △【コ】 ボランティアを含めた連絡会を開催していただけたら、コーディネーターだけでなく、ボランティア同士の繋がりも増えると思う。
- △【本部】 本事業の更なる周知のため、積極的にHPの更新等を進めることに努める。

石垣市学校支援地域本部(石垣市)

構成学校	石垣小学校、石垣第二中学校、大浜中学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	160人	コーディネーター数	2人
コーディネーターの配置場所	小学校、中学校	勤務時間	200時間		

◆代表的・特徴的な活動

- 学習支援（地域未来塾）の取り組み
- グラウンドの整地作業
- 運動場周辺の草刈り及び整地作業
- 花の苗作り、鉢上げ作業、手入れアドバイス
- ふるさと祭りへの協力（地域の青年会）
- 学校内にある高倉の修復
- 図書の新着協力
- 本の読み聞かせ「ふれあい読み聞かせ」の実施
- 米作り体験
- 部活動指導（方言指導含む）



◆工夫していること

- コーディネーターを中心に年間計画を立て、計画的な事業支援（人員の確保、作業等）ができるようにした。
- 活動について職員への周知を図り、スムーズな活動を心掛けている。
- 地域の青年会の協力を得ている。
- 地域の行事と関わることで、地域の青年会や老人会との交流ができています。
- 本年度、地域未来塾の取り組みを始めたので、地元2紙への記事掲載も含め広報等での周知を図っている。



◆成果と課題

【学校】

- 学校・PTA行事など合わせることで学校と保護者の連携を図る事ができた。
- 学習支援（地域未来塾）の取り組みを行うことが出来た。
- 普段なかなか出来ない環境整備、学習環境づくりができ、子どもたちの安全・安心できる教育環境を整えることが出来た。
- 親子ふれあい、地域住民との交流、体験活動を通して学校と地域との関わりを強化することが出来た。



【コーディネーター】

- 学校行事に適した人材を配置することができた。
- ボランティアの方々の固定化、いつも同じ面々での作業が多かった。

【本部】

- 市内の学校で、この事業の取り組みを強化する必要がある。本市の特色として、市内の学校以外は小規模校が多く地域とのつながりが密接であるが、市内の学校は校区が複数の地区にまたがるため。
- 放課後子ども教室との連携を強化したい。
- 地域未来塾の取り組みを強化したい。



浦添中学校区支援地域本部(浦添市)

構成学校	浦添中学校・浦添小学校・前田小学校				
開始年度	H24年	登録ボランティア	110人	コーディネーター数	3人
コーディネーターの配置場所	各学校		活動時間	190時間/年	

◆代表的・特徴的な活動

- ①朝の読み聞かせ ②放課後子ども博物館
- ③クラブ活動 ④放課後学習支援
- ⑤平和学習(てだこ市民大学卒業生による研究成果の講話)
- ⑥ボランティアと特別支援の生徒とのジャガイモ栽培及び収穫作業



◆工夫していること

- ①クラブ活動にて、地域の方々の得意分野を活かした活動を取り入れる。(茶道、健康体操、ソフトバレー、バトミントンなど)
- ②ボランティアが無理なく喜んで学校行事等の活動ができるよう、工夫をしている。(事前の打ち合わせ、スケジュールの共有、見守りと確認など)

◆成果と課題

- 【成】地域の方々が積極的にボランティアに参加してくれるようになった。
- 【成】学校と地域が活動を行うことにより、連携がより向上した。
- 【成】子どもたちが地域の歴史を勉強することができた。



仲西中学校区支援地域本部(浦添市)

構成学校	仲西中学校・仲西小学校・浦城小学校・宮城小学校				
開始年度	H23年	登録ボランティア	187人	コーディネーター数	4人
コーディネーターの配置場所	各学校		活動時間	190時間/年	

◆代表的・特徴的な活動

- ①家庭科支援
- ②花壇整備支援
- ③生活指導支援
- ④人権の読み聞かせ支援
- ⑤老人会による事業支援及び世代間交流
- ⑥学習支援
- ⑦登校安全指導及び朝のあいさつ運動
- ⑧朝の読み聞かせ
- ⑨蝶園を活用した環境整備支援
- ⑩高校ボランティアによる学習支援
- ⑪地域ボランティアによる宿題センター
- ⑫技能士会によるものづくり体験

◆工夫していること

- ①自治会の行事に参加し、公民館まつりや地域の方々が集まる場所において交流及び広報を行っている。
- ②先生方とも出来るだけ顔を合わせ、必要な支援等について気軽に声をかけてもらうよう心掛けている。
- ③地域の自治会、婦人会、老人会、人権委員や民生委員への協力依頼。
- ④学校とボランティアとのコミュニケーションを図るための会を定期的に開催。



◆成果と課題

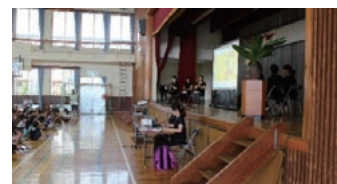
- 【成】地域の方々に支援・ご協力を頂けることにより、子どもたちの安心した様子が伺える。
- 【成】PTAだけでは実行できずにいた朝の安全指導も地域の協力により年間を通して、保護者・地域のボランティア配置が形づいてきた。
- 【課】同じ方がいくつものボランティアをしている。これまで参加していない学校や近隣の方々にも気軽に参加できるよう周知をしたい。
- 【課】コーディネーターの裁量任せの部分がある。基礎の定着も図る必要がある。

神森中学校区支援地域本部(浦添市)

構成学校	神森中学校・神森小学校・内間小学校・沢岬小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	279人	コーディネーター数	4人
コーディネーターの配置場所	各学校		活動時間	190時間/年	

◆代表的・特徴的な活動

- ①老人会による朝のあいさつ運動
- ②婦人会による朝の交通運動
- ③学校備品の修理
- ④小学3年生の地域学習の手伝い
- ⑤特別支援及び教室に入れない子どもたちとの調理実習
- ⑥PTAによるボランティア活動
- ⑦読み聞かせボランティア
- ⑧地域の交通安全指導ボランティア



◆工夫していること

- ①地域行事、評議委員会に参加し、ボランティア協力者とのコミュニケーションを図る。
- ②ボランティア内容や時間等を書いたプリントを作成し、公民館での掲示や配布を行った。
- ③地域の行事に参加し、学校支援の広報を実施。
- ④毎月初めに支援内容の検討を行い、無理のないボランティア活動を提供している。
- ⑤ボランティア感謝集会での情報交換会

◆成果と課題

- 【成】地域の方々が積極的にボランティアに参加してくれるようになった。
- 【成】子どもたちから笑顔であいさつをうけることが多くなった。
- 【課】先生方への顔合わせがうまくいかない。
- 【課】学校行事が多く、コーディネートできない行事があった。

港川中学校区支援地域本部(浦添市)

構成学校	港川中学校・牧港小学校・港川小学校				
開始年度	H24年	登録ボランティア	332人	コーディネーター数	3人
コーディネーターの配置場所	各学校		活動時間	190時間/年	

◆代表的・特徴的な活動

- ①学習支援ボランティア
- ②生活科、総合学習における地域人材の活用
- ③登校時安全支援活動
- ④ベルマーク運動
- ⑤読み聞かせボランティア
- ⑥地域企業による美化活動、黒糖づくり指導



◆工夫していること

- ①継続的に活動するために学校やコーディネーターが地域の行事への参加や情報交換の場に出席している。
- ②計画の段階から、地域の方が教員と授業の進め方を話し合う。
- ③PTA広報誌への掲載で地域の方々の活動を知ってもらう。
- ④学習支援等の終了後、人材活用の利点や改良点を担当教員より聞き取りを行う。
- ⑤読み聞かせ等の活動の合間にベルマークの仕分けなど別の活動も組み込んでいる。

◆成果と課題

- 【成】学校支援年間計画表を作成する事で、学校やコーディネーターの年間の動きが見えた。
- 【成】地域の方々や保護者、高齢者も含めてみなさんが積極的に協力してくれる。
- 【成】PTA活動と一緒にすることで、学校支援ボランティアを周知することができた。
- 【課】ボランティアのみでなく、コーディネーターの育成も課題である。
- 【課】学校側で取り組んでるボランティアとの連携が弱かった。
- 【課】夏休みボランティアが夏休み終了以降継続できなかったのも課題である。

浦西中学校区支援地域本部(浦添市)

構成学校	浦西中学校・当山小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	228人	コーディネーター数	2人
コーディネーターの配置場所	各学校		活動時間	190時間/年	

◆代表的・特徴的な活動

- ①学習支援活動：小学3年国語授業にて地域の書道講師担任、保護者、ボランティアで各クラスに入り毛筆導入のチーム指導を実施
- ②環境整備活動：平成25年、校内環境整備活動にハッピーボランティアの会が発足。花壇の土作り、花の植付等、「花いっぱい当山小」めざして活動。
- ③クラブ活動（方言・囲碁・琉舞・三線・折り紙・お茶）において地域ボランティアを活用
- ④地域の方による平和教育についての講話
- ⑤中学3年生対象のキャリア教育についてのミニ講話
- ⑥保護者・地域の方による読み聞かせ、ミニ講話
- ⑦てだこ市民大学生による昔の沖縄を学ぶ「方言劇」
- ⑧「認知症」についての寸劇



◆工夫していること

- ①地域連携だよりを活動写真入りで毎月発行、現在進行中の支援ボランティア活動を紹介及びボランティア募集を呼びかけている。資料用の写真は校内掲示して紹介、活用。
- ②年度初めに、各学年の教育計画を基にした当山小地域人材活用計画書を作成、支援ボランティアの活用計画調整を実施。
- ③学校支援ボランティアの名簿を随時更新し、すぐに使えるように整備している。
- ④年間を通じた活動例えば校内環境整備活動については、年度スタート時、初顔合わせと年間活動計画を確認している。
- ⑤読み聞かせは絵本だけでなく、読み手によって新聞ニュース、紙芝居、体験話なども実施。
- ⑥ミニ講話をする方は仕事をしている人が多く、キャリア教育の一環を担っている。
- ⑦苗の植え替えなどはボランティアが行い、花壇等への植付は子どもたちが行うようにし、水かけへの関心が高まるようにしている。



◆成果と課題

- 【成】読み聞かせボランティアの参加で保護者・地域・子どもたちとのアイコンタクトがとれるようになった。
- 【成】読み聞かせでのおもろさうしを話した後、正門にあるおもろの碑に興味を持つ子どもが増えた。
- 【成】学校支援ボランティアの名簿を随時更新し、整備することができた。
- 【成】当山小地域人材活用計画を作成し、各学年の要望に応じた支援ボランティアの配置に役立てることができた。
- 【成】ハッピーボランティアが発足し、毎月1回の活動日を含め定期的・計画的に校内美化を進めることができた。
- 【課】個々の子どもへの支援が必要であるが、専門性があるので、即対応は難しい。
- 【課】学習支援ボランティアについては、継続的に活動できる人材が少なく、必要数に足りない。今後も呼びかけが必要である。
- 【課】毎年学習ボランティアを募集しているが、なかなか集まらない。

名護市学校家庭地域連携協議会(名護市)

構成学校	屋我地小学校、真喜屋小学校、羽地小学校、稲田小学校、安和小学校、屋部小学校、大宮小学校、名護小学校、東江小学校、瀬喜田小学校、久志小学校、久辺小学校、大北小学校（小学校13校） 屋部小学校中山分校（分校1校） 屋我地中学校、羽地中学校、屋部中学校、名護中学校、久志中学校、久辺中学校、東江中学校、大宮中学校（中学校8校）				
開始年度	H20年	登録ボランティア	826人	コーディネーター数	11人
コーディネーターの配置場所	市教育委員会	勤務時間	2時間×3日×48週		

◆代表的・特徴的な活動

- 読み聞かせ活動（小学校・分校・中学校）
- 中学生向け講話活動（中学校）
- 平和学習での地域人材活用（小学校）
- 名桜大学学生ボランティアの活動（小学校・中学校）
＜授業支援・読み聞かせ・学校行事支援・放課後の学習支援＞
- 名桜大学にて学生ボランティアの募集（小学校・中学校）
- インターネットスマートフォンに関する講演会
（小学校・中学校）
- 認知症に関する読み聞かせ・授業（小学校・中学校）
- 卒業生による進路講話（中学校）
- キャリア教育に関する講演会（小学校）



（放課後の学習支援）



（キャリア教育に関する講演会）

◆工夫していること

- 定期的な地域コーディネーター会議の実施
- 読み聞かせボランティア研修会・交流会の実施
- 家庭教育支援事業と連携



（読み聞かせボランティア研修会・交流会）

◆成果と課題

- 【本部】 【○】 読み聞かせボランティアの交流が進み、読み聞かせ活動の相互協力が行われた。
- 【学校】 【○】 学生ボランティアの活動により、学生と接した子どもたちが将来を考えるなど、子どもたちと学生の斜めの関係をつくるよい機会となっている。
- 【コ】 【○】 コーディネーターの情報共有が進み、他校の良い取組を取り入れた活動を実施することができた。
- 【教委】 【○】 地域コーディネーターチームとしての意識づくり・ノウハウの共有によりコーディネーターの資質向上が図れた。
- 【本部】 【△】 大学から距離のある学校への学生ボランティアの移動に困難な状況がある。
- 【本部】 【△】 退職教員のボランティア確保が進んでいない。

潮平中学校区支援地域本部(糸満市)

構成学校	潮平中学校 潮平小学校				
開始年度	H23 年	登録ボランティア	20 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	教育委員会		勤務時間	3時間×2日×40週	

◆代表的・特徴的な活動

- *3学年習字支援
- *5学年総合学習職業インタビュー
- *5学年家庭科ミシン
- *クラブ活動



◆工夫していること

- *先生方との情報交換
- *事前打ち合わせ、振り返りを必ず行い、次回へ活かしている。
- *生涯学習（特に伝統芸能）における人材活用



◆成果と課題

- 【学校・地域】学校と地域の連携が図られた。
- 【学校・地域】地域の方が学校へ行きやすくなった。
- 【学校】児童の方からボランティアさんやコーディネーターに挨拶や話しかけることが増えてきた。

高嶺中学校区支援地域本部(糸満市)

構成学校	高嶺中学校 高嶺小学校				
開始年度	H26 年	登録ボランティア	31 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	教育委員会		勤務時間	3時間×2日×40週	

◆代表的・特徴的な活動

【高嶺小学校】

- ・算数の授業における学習支援、環境整備支援
- ・放課後の学習支援、ミシン支援（高学年）

【高嶺中学校】

- ・読書支援、不登校支援



◆工夫していること

- ・教職員とのコミュニケーション
- ・人材を発掘し、毎年同じ方へのボランティア活動にかかる負担をかけないように努める。



◆成果と課題

- 地域の方がボランティアではいることで、子どもたちの学習姿勢が良くなっていると思う（学力向上に寄与している）
- △ ボランティアの声を聞けるような環境づくりに課題がある（コーディネーターの気配りとか）
- △ 新しい人材の確保

三和中学校区支援地域本部(糸満市)

構成学校	三和中学校 喜屋武小学校 真壁小学校 米須小学校				
開始年度	H23 年	登録ボランティア	10 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	教育委員会		勤務時間	2時間×1日×40週	

◆代表的・特徴的な活動

- *小学校 平和学習講師サポート、プールの監視員、クラブ活動（折り紙、ダンス）



◆工夫していること

- *ボランティアの方が次回も参加しやすいように、校長室に案内して先生達とボランティアの方達のコミュニケーションを増やせる機会を作る
- *他の地域のボランティア活動状況を知るために、コーディネーターの集まりに積極的に参加する

◆成果と課題

- *成果 外部の講師によって子どもたちが普段の授業では得られない体験ができた
- *成果 ボランティアが入り、先生達の負担軽減になってる
- *課題 ボランティア登録の数が少ない
- *課題 各学校のニーズを引き出せてない



西崎中学校区支援地域本部(糸満市)

構成学校	西崎中学校 西崎小学校 光洋小学校				
開始年度	H23 年	登録ボランティア	90 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	教育委員会		勤務時間	2時間×1日×約40週	

◆代表的・特徴的な活動

- ・キャリア学習 地域の方による職業講話
- ・生活科野菜の植え付け
- ・書道学習支援、クラブ活動
- ・学習支援、サトウキビについての学習



◆工夫していること

- ・ボランティアをする方がスムーズに参加して頂けるように打ち合わせを密に心掛けています。
- ・先生方とのコミュニケーションを取るよう努めています。
- ・地域の方々のボランティアが増えるように活動を伝えるように心掛けています。

◆成果と課題

- 地域の方々と子どもたちとの交流が増えることで、子どもたちが地域を意識するようになっている。
- 専門的なお話しを聞く機会ができ、子どもたちの学習理解に役立っている。
- △ ボランティアの新規開拓が難しい。
- △ ボランティア終了後に先生方と一緒に感想を伝え合う機会がなかなかもない。

兼城中学校区支援地域本部(糸満市)

構成学校	兼城中学校 兼城小学校				
開始年度	H23 年	登録ボランティア	50 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	教育委員会	勤務時間	3時間×2日×40週		

◆代表的・特徴的な活動

- ・書道教室、平和学習（潮平権現塚、阿波根塚視察研修）
- ・キャリア学習（JTA客室乗務員による講話）
- ・MV武富店にて、キャリア学習と地域学習
- ・食育（弁当づくりの実践と講話）、ミシンサポート



◆工夫していること

- ・ボランティア終了後、感想と伝えたい思いを聞く
- ・次回に繋げるように話しかけて聞いていく
- ・学校と地域とのつながりを大切にしている
- ・自身のスキルを高めるよう努力をしてボランティアの受け入れ体制を整える



◆成果と課題

- ボランティアが入ったことにより、先生方の負担軽減につながっている
- 外部講師や地域の協力により、学校支援の内容が充実してきている
- △ 小、中ともに、子どもたちの居場所づくりの観点から放課後の学習支援を行いたい

糸満中学校区支援地域本部(糸満市)

構成学校	糸満中学校 糸満南小学校 糸満小学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	93 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	教育委員会	勤務時間	3時間×2日×40週		

◆代表的・特徴的な活動

- ・職業体験講話、トイレ掃除指導サポート
- ・サマースクールサポート
- ・家庭科ミシンサポート
- ・習字指導サポート
- ・職業講話サポート



◆工夫していること

- ・ボランティアの方が気持ちよく学校に入っていけるよう、環境を整える。
- ・PTAや民生委員など、地域の組織と積極的に関わりを持ち、連携を図っている。
- ・自身のスキルを高めるため、研修会や講演会に参加し、コーディネートにフィードバックできるようにしている。
- ・他校の情報や取組内容を先生方に伝え、積極的にボランティアを活用する体制を構築している。

◆成果と課題

- 【生徒】地域人材の協力により、内容の充実したキャリア教育を受けることができた。
- 【コ】地域の理解が深まり、地域の方が積極的に学校支援活動に参加してくれるようになった。
- 【学校】教員の負担が減り、子どもたちが地域の方々に挨拶ができるようになった。

越来中学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	越来中学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	25 人	コーディネーター数	2 人
コーディネーターの配置場所	越来中学校	勤務時間	2時間×175日×2		

◆代表的・特徴的な活動

- ・校内の環境整備：正門から中庭、校舎周辺、体育館から裏門の環境整備を重点に行う。
- ・朝の校内安全指導：朝早く登校した生徒の見守りを兼ねて樹木の散水を行う。
- ・部活動指導：ボランティア等による指導・支援。
- ・朝の読み聞かせ：全学級で年数回実施。



◆工夫していること

- ・環境整備前の入念な道具準備と事前打ち合わせを行い安全に配慮して作業できるようにしている。
- ・朝の読み聞かせには地域・越来中OBにもSNSを利用して参加を呼びかけている。
- ・毎朝、教頭へ現況報告と予定確認を行っている。

◆成果と課題

- 【学】ボランティアによる環境整備が生徒会美化委員の活動とも連動している。
- 【コ】地域・越来中OBを中心にボランティア参加が増えつつある。
- 【学・コ】地域ボランティアによる部活動指導のおかげで好成績を残した。
- △【コ】ボランティア参加者の確保。チラシ・ポスターで募集の呼びかけを行う。
- △【コ】学校敷地が広くボランティアや学校職員・生徒のみでは環境整備が十分行えない。

コザ中学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	コザ中学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	46 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	コザ中学校	勤務時間	4.5時間×4日×40週		

◆代表的・特徴的な活動

- ・「心豊かな子どもたち」を目標に校内の環境作り
- ・月に1度の読み聞かせ、整備担当のお父さん方の定期的活動
- ・学生ボランティア・退職教員による学習支援
- ・地域ボランティアによる三線・茶道指導
- ・地域ボランティアによる登校見守り



◆工夫していること

- ・ボランティアさんの共同作業の場をボランティア同士の情報交換の場として活動
- ・各学期ごとにボランティア情報交換会を開いている



◆成果と課題

- 【コ】学校のため、子どもたちのための活動をボランティアが積極的に提案するようになった



山内中学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	山内中学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	49 人	コーディネーター数	2 人
コーディネーターの配置場所	山内中学校事務室	勤務時間	月～金（時間不定）		

◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の読み聞かせ
- ・学習支援
- ・環境整備



◆工夫していること

- ・より多くのボランティアが増えるように、PTA、地域方、自治会、青年会に声掛けしている。
- ・ボランティアの方と常に情報交換を行い、交流を図る。
- ・ボランティア募集のうちわを作り、保護者や地域の方に配布している。

◆成果と課題

- △【学校】学習支援のボランティアの方が増えてほしいです。（退職教諭の方の人材バンク登録を希望します）
- △【コ】読み聞かせの人数が足りず各クラスに入れない。
- △【コ】地域や保護者、自治会に協力してもらうよう声かけする。

美里中学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	美里中学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	8 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	美里中学校	勤務時間	月～金（不定期）		

◆代表的・特徴的な活動

既存の体育系・文化系の部活に加え、子どもたちの居場所づくりとして、ダンスサークルが活動、地域のイベントに参加し、日頃の練習の成果を発揮し、地域の皆さんも喜んで頂いています。また、地域青年会により学校行事駐車・警備係や体育行事でのエイサー指導など地域との交流も積極的に協力いただいています。

◆工夫していること

- ・習得した技術を利用して学校活動に利用できる実践的な作業で成果を示しています。
- ・読み聞かせなどの活動では、地域の高齢者のボランティア参加者が前年度より増えていて、お茶会などのコミュニケーションを大切に、更なる地域の皆さんの協力を呼び掛けています。

◆成果と課題

- △【学】PTA活動が停滞しているため、学校活動での地域の協力と体制の確立が必要です。
- △【コ】積極的にボランティア活動が取り組める研修やイベントの実施でボランティアに参加しやすい環境を作る努力が求められます。また、中学校の特性から自主的な行動が求められるため、専門的な指導が出来るボランティア人材の確保と学校活動でのマッチングに難しさがあり、市と支援本部との連携協力、体制強化が必要だと考えています。

美東中学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	美東中学校				
開始年度	H22 年	登録ボランティア	90 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	職員室	勤務時間	毎日4.5時間程度		

◆代表的・特徴的な活動

- *琉球大学学生による数学塾(土曜塾)
- *特別支援学級の支援 *マナー講座 *職業人講話
- *環境美化(花壇の手入れ・花の植え付け)
- *受験対策模擬面接*本の読み聞かせ
- *浴衣の着付け講習



土曜塾

◆工夫していること

- *地域の自治会を訪問したり、ボランティアが必要なときには、声掛けし依頼したり人材の紹介をしてもらう。また、出来る限り、保護者への協力もお願いするように心がけている。

◆成果と課題

- *地域の方や、保護者の方も、なかなかボランティアの意識が薄く、人材集めには苦労はしているのが現状ですが、その中でも協力的な方もいるのでいろいろな方々の協力を得ながら、また学校区だけで対処しようとせず、各学校の地域コーディネーターとの連携をしていく必要があると感じた。

安慶田中学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	安慶田中学校				
開始年度	H23 年	登録ボランティア	24 人	コーディネーター数	4 人
コーディネーターの配置場所	安慶田中学校	勤務時間	4時間×4日×35週		

◆代表的・特徴的な活動

本校は、校地が広く、職員や生徒だけでは、十分に整備することができず、地域コーディネーターやボランティアの方々が草刈り作業・花壇等の整備をして下さっています。

- ・ビオトープで、稲作・田芋の栽培。池でコイ・リュウキュウめだかの飼育
- ・校内畑づくり(特別支援学級生徒の活動)
- ・校内の環境美化(草刈り・花壇整備・木々の枝打ち等)
- ・学校前の横断歩道の交通安全指導



◆工夫していること

- ・大学生による学習ボランティア
- ・各自治会との連携(夏休みの居場所づくり等)
- ・老人会を招待してのジュシー会(特別支援学級生徒とボランティアによる)

◆成果と課題

- 【学】進んで挨拶する生徒が増えた。
- 【学】「わったー学校」という意識で地域コーディネーターが学校へ週1日は、最低足を運んでくれるので、連携がとりやすかった。
- 【学】ビオトープの整備でより環境が良くなった。
- △【学】学校支援ボランティアの登録人数がまだ十分でない。特に保護者の参加が少ない。

宮里中学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	宮里中学校				
開始年度	H23 年	登録ボランティア	55 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	職員室	勤務時間	4時間×4日×46週		

◆代表的・特徴的な活動

- 環境美化 ○「朗読の時間」
- 学習支援
- エイサー練習指導 ○職業別講演会
- 家庭科(調理・裁縫実習補助)
- 職場体験学習 ○模擬面接



◆工夫していること

- 職業別講演会では、生徒の要望する職種の講師に依頼して、講話をしてもらっている。
- 情報交換のため、定期的に自治会を訪問している。
- ボランティアさんの要望に、なるべく応えられるようにしている
- 「朗読の時間」では、ボランティアさんが同じクラスに重ならないようにしている。

◆成果と課題

- 【学】家庭科の裁縫実習では、ミシンのトラブルにも対処してくれて助かっている。作品の進み具合に差があるなか、積極的に声かけしてくれて、生徒全員が作品の提出ができています。調理実習では、包丁と火の扱い方を見守りながら、声かけしてもらって助かっている。
- △【コ】学習支援ボランティアと、その他ボランティアを増やしていきたい。
- 【生徒】朗読を通して人生や命の考え方を変わってくれました。これからも朗読の時間を通して考えを深めていきたいです。

沖縄東中学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	沖縄東中学校				
開始年度	H23 年	登録ボランティア	166 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	沖縄東中学校ドリームルーム	勤務時間	4時間×5日×35週		

◆代表的・特徴的な活動

- ・東海市交流事業における、カチャーシー指導の講師。
- ・体育祭に向けた運動場のトラックのライン引き。
- ・平和学習の講話。
- ・沖縄市平和の日にちなんだ読み聞かせ。



◆工夫していること

- ・カチャーシー指導は、老人会の会合でも説明して依頼した。
- ・気持ちよくボランティア活動をして貰えるように、担当の先生との打ち合わせや情報を共通理解できるようにしている。
- ・ボランティア活動終了後も管理職の懇談の場を設定し、感謝の意を表している。

◆成果と課題

- 【学校】多様な人材の協力、活用により、学校教育の充実が図られた。
- 【学校】地域の方々に進んで挨拶をする生徒が増えた。
- 【コ】ボランティア活動で子どもたちとの関わりを喜んで下さっている。
- △【コ】ボランティアの希望する内容に対して、依頼する内容が合わない場合がある。
- △【コ】ボランティアの人数が足りない場合がある。

山内小学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	山内小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	119人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	事務室	勤務時間	4時間×5日×36週		

◆代表的・特徴的な活動

- ・学校行事補助（入学式の受付、1年生への読み聞かせ、運動会のエイサー、地謡指導等）
- ・学習支援活動（読み聞かせ、補習の丸つけ、プールやミシン、合唱の指導補助）
- ・環境整備（樹木の剪定、教材園の手入れ）
- ・登校指導（毎日の登校指導、毎週月・水の下校指導）



◆工夫していること

- ・学校説明会、参観日等に事業への協力を得るために募集チラシの配布と声かけを行った。
- ・タオルや封筒にボランティア募集のプリントをして自治会やPTA会員に配布し広報を行った。
- ・感謝集会へボランティアを招待し交流を深めた。



◆成果と課題

- 【学】登下校の安全指導や環境整備、読み聞かせ等の活動が充実している。
- 【学】学習支援への読み聞かせや、丸つけボランティアの積極的な活動により、読書意欲の向上、基礎学力の定着が図られつつある。
- △【学】学習支援ボランティアを各教科領域で積極的に活用していきたい。
- △【コ】各活動に対応できる学校支援ボランティアを広げていきたい。

北美小学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	北美小学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	93人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	北美小学校	勤務時間	約2～3時間×週3日		

◆代表的・特徴的な活動

- ・学習支援ボランティア
- ・読み聞かせボランティア
- ・地域安全ボランティア



◆工夫していること

- ・ボランティア同士の情報交換実施
- ・地域ボランティア、自治会との定期的会合、情報交換
- ・他校へ行き、読み聞かせの工夫等見学に行く
- ・年に一度全児童より、ボランティアさん達へ感謝集会を開いて改めて感謝の気持ちを伝えている

◆成果と課題

- 【学】自治会、地域との連携が図られている。
- △【学】低学年において、学習ボランティアへの参加が年々減少している。
- △【コ】今後、地域ボランティアさんと給食交流会を開催し、地域と学校との繋がりを強めたい。

諸見小学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	諸見小学校				
開始年度	H21 年	登録ボランティア	39 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	諸見小学校	勤務時間	月～金 8:00～12:00		

◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の読み聞かせ(にじいろポケット)
- ・朝の交通安全指導
- ・環境美化
- ・田んぼ作り



◆工夫していること

- ・ボランティアの方と情報交換会を持ち、交流を図る。
- ・PTAと連携を図るため、PTA作業に参加。
- ・自治会へ定期的に訪問。



◆成果と課題

- 【本部】地域の理解が深まり、地域からのボランティアがふえつつある。
- △【本部】活動の内容によってボランティアの人数に偏りがあり、参加者の拡大が課題である。

島袋小学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	島袋小学校				
開始年度	H21 年	登録ボランティア	67 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	小学校事務室内	勤務時間	9時～13時		

◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の読み聞かせ、交通安全指導、運動会時のエイサー指導などに加え地域探検や昔あそび、平和学習では地域の明友会のお年寄りから直接お話をうかがったり、しめ縄作りを指導してもらっている。
- ・クラブ活動では地域の方が講師として関わってくださる。
- ・毎年学校で「黒糖づくり」体験をしている。



◆工夫していること

- ・朝の読み聞かせ時、狭い校舎内で待機場所がなく、職員室を開放してボランティアを受け入れている。そのおかげでボランティア間ですぐに感想を話し合っている。
- ・地域の学生ボランティアを積極的に受け入れられる環境である。



◆成果と課題

- 【コ】今年度は校舎改築などで全体的にボランティアが入れなかったが、その分自治会との繋がりで支援することが出来た。
- 【学】「フラダンスクラブ」「ちぎり絵クラブ」で講師として地域講師が来校していただいた。島袋小独自性がある。
- △【学】学習支援(丸つけ)がなかなか定着できない。

中の町小学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	中の町小学校				
開始年度	H21 年	登録ボランティア	120 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	中の町小学校	勤務時間	4時間 × 175日		

◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の交通安全活動
- ・クラブ指導
- ・ミシン指導
- ・下校時パトロール
- ・プリント丸つけ
- ・行事の手伝い
- ・見守り
- ・学習支援
- ・庭の手入れ



◆工夫していること

- ・毎月の学校行事表の配布とボランティアの様子を保護者と地域の方に配布している。
- ・こまめに地域に顔を出し、会話することでボランティアを募る。

◆成果と課題

- 【学】地域の方が、ボランティアをやって楽しかったと言ってくれて、また、先生方にも喜んでもらっている。
- △【コ】もっとたくさんのボランティアさんが、気軽に参加できるように工夫したい。

安慶田小学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	安慶田小学校				
開始年度	H20 年	登録ボランティア	40 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	管理棟2階	勤務時間	週18時間程度		

◆代表的・特徴的な活動

- 丸つけボランティア {朝のドリル (かがやきタイム)、補習時間 (あげだっ子タイム)}
- 環境美化作業・畑や花壇への水かけ・土日のえさあげ
- 朝の交通安全指導・あいさつ運動
- 平和学習の講師
- 地域と取り組む一活動
- 読み聞かせ (第1・3火曜日)



◆工夫していること

- 保護者、自治会 (地域) にボランティア募集要項、登録用紙を配布。
- 自治会に定期的に訪問し、情報交換に努めている。
- 地域連携掲示板を設置しボランティアメンバーの紹介や毎月のボランティア募集内容、活動風景の写真を掲示している。
- 読み聞かせの募集の際PTAと連携して保護者や地域の方へも募集内容や日程を連絡している。

◆成果と課題

- 【学】交通安全指導で、なかなかあいさつのできなかつた児童も毎日声かけすることで、あいさつを返してくれるようになった。
- 【学】丸つけボランティアを配置することで、先生方の負担を減らすことができた。
- 【学】児童が落ち着いて授業に向かっている。
- △【コ】募集をかけているが、新しいボランティアの確保が難しい。

越来小学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	越来小学校				
開始年度	H21 年	登録ボランティア	110 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	越来小学校	勤務時間	週3日 8:00~12:00		

◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の丸つけボランティア(毎週月・水・木)
- ・交通安全指導及びあいさつ指導(毎朝)
- ・読み聞かせ(毎週金曜の朝)
- ・学校行事への協力(運動会エイサー三線地謡等)
- ・地域による環境整備
- ・地域老人会による安全見守り



◆工夫していること

- ・学校とボランティア間の情報交換会を実施している。
- ・年度の初めに地域と保護者にボランティアの募集要項を配布している。
- ・各自治会との情報交換及び連携。
- ・地域ボランティアへの休日のお知らせと湯茶の提供。

◆成果と課題

- 【ボ】登校時の児童の安全確保に大きく貢献している。
- 【コ】児童と地域の方々との交流に大きく貢献している。
- 【学】丸つけボランティアの活用により、児童の基礎的・応用的な学習の力が付いた。
- 【学】自治会に出向き連携をとることで、青年会等の強力を得ることができた。
- △【コ】ボランティアの増員。

コザ小学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	コザ小学校				
開始年度	H22 年	登録ボランティア	52 人	コーディネーター数	1 人
コーディネーターの配置場所	事務室	勤務時間	8:00~12:00		

◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の算数ドリル(毎週火・木)
- ・朝の読み聞かせ(コザ小学校・幼稚園)
- ・朝の交通安全指導・学習支援・環境整備
- ・校外学習への引率補助
- ・学校行事への協力、ふれあい農園(校内畑づくり)



◆工夫していること

- ・算数ドリル、読み聞かせのスケジュールを全保護者に配布
- ・地域ボランティアの方には長期休暇の前にあいさつ状を配布
- ・朝の活動後に情報交換のためにお茶会を行う
- ・地域ボランティアをお招きし、感謝をこめて、お招き会を開催

◆成果と課題

- 【学】地域ボランティアの方々が学校教育に参加することで、地域に本校の教育が理解され連携して教育を推進することができた。
- 【学】校外学習等で引率の補助を行って頂くことにより、子どもたちの安全・安心を確保しきめ細やかな教育を行うことができた。
- △【コ】読み聞かせ等の練習に使える活動スペースの確保。
- △【コ】PTAや自治会など地域と連携を取るため、定期的に会合を開くようにする。

美里小学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	美里小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	20人	コーディネーター数	1人
コーディネーターの配置場所	美里小学校	勤務時間	10時～12時、15時～17時		

◆代表的・特徴的な活動

- ・保護者、シルバー、地域ボランティアによる登下校の安全確保・指導
- ・毎週木曜日の読み聞かせ（保護者による紙芝居作成『そらとびライオン』、エプロンシアター、巻き巻き、指人形と新たな活動を拡大中）
- ・毎週木曜日10時～13時をボランティア活動日時と決め、保護者・ボランティアで学校からの要請を受けている。（給食エプロン・帽子作り、学芸会衣装作り、花壇整備等）
- ・体育の水泳の授業で、全学級に2～3名の安全監視指導員ボランティアを配置。
- ・夏休み期間中に、中・高校生水泳選手（ミストスイミング）の指導による水泳教室の実施。

◆工夫していること

- ・各学年の委員長、副委員長、各クラブの指導者、各専門委員長、各自治会、青年会、老人会、婦人会、学校側との連絡を強化することで、情報交換、情報の共有を図り連携を深め、円滑な活動を行なっている。
- ・ボランティア活動の内容等を本人へ直接依頼し、終了後は、お礼を伝えると共に情報交換、反省会を行い次へつながる情報共有を図っている。
- ・無理せず楽しく参加できる環境づくりを心がけている。

◆成果と課題

- 【コ】学校との連携が良く、情報の交換・共有が図られ、人材の確保が円滑に行えた。
- 【学】地域との連携が良く、理解や多くの協力が得られた。
- 【ホ】児童安全ボランティアの意識が高まり参加者が増加した。
- 【ボ】学校美化等の共同奉仕作業に過去最高の参加人数であった。
- 【コ】PTA各専門委員会との連携が良く、情報の交換・共有が図られ、保護者へ情報発信ができた。
- △【学】学習ボランティア活動の取り組みの向上を図りたい。（〇づけ活動等）

美東小学校区支援地域本部(沖縄市)

構成学校	美東小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	124人	コーディネーター数	2人
コーディネーターの配置場所	美東小学校	勤務時間	4時間×週5日（2人で調整）		

◆代表的・特徴的な活動

- ・登校下校安全見守り隊
- ・いつでも安全見守り隊：放課後や休みの日に自宅周辺で黄色ベストを着て見守りや声かけ。
- ・読み聞かせ（ふくろうの会）：毎週木曜日朝に読み聞かせ。
- ・帰宅指導（喜児夢庭の会）：毎週火曜日夕方実施。運動会の臨時駐車場係など。
- ・学習支援家庭科、図工、プール、車いす体験、校外学習サポート、丸つけ、3学年地域学習のゲストティーチャー（太鼓指導）、3学年全体、特別支援学級の水泳指導サポート
- ・琉舞、生け花、しまくとぅば、折り紙などを地域の方が指導やサポート
- ・給食エプロン作成：手づくりで布などもすべて提供 ・暗幕など修繕



◆工夫していること

- ・1学期後半開始の児童朝会で登校・下校安全見守り隊を紹介する。
- ・11月の感謝集会でボランティアさんに児童から感謝状を贈呈する。
- ・新入学オリエンテーションでボランティア募集のチラシを配布、説明し在学生には随時募集をする。
- ・職員連絡会で学校支援地域本部の説明をする。
- ・事務室配置でPTA事務や職員と連携を図る。
- ・自治会にボランティア募集のチラシを配布してもらう。



◆成果と課題

- 【学】校外学習の安全面で目が行き届いて良かった。
- 【学】水泳指導、毛筆指導など学年で指導が統一できて良かった。
- 【学】入学式のあと新一年生に読み聞かせを行ったので、保護者への伝達がスムーズだった。
- △【学】登校下校見守り隊の新たなボランティアメンバーを募っているがなかなか集まらない。
- 【本】学校支援地域本部設置により自らボランティアを希望する人が増えた。